

令和6年度 大田区区民協働推進会議（第1回）

日時：令和6年4月12日（金）

場所：消費者生活センター大集会室

【議題】

- 1 委嘱状の交付
- 2 委員の紹介
- 3 令和6年度実施スタートアップ助成、ステップアップ助成[新規]審査員の選定及び審査スケジュールについて
- 4 令和6年度大田区区民協働推進会議のスケジュール及び調査研究について
- 5 その他

【出席者】

委員：中島・牛山・安武・中平・和田・濱住・浜・酒井・芦川・中原・栢沼

事務局：地域力推進部長・区民協働担当課長・区民協働担当係長・区民協働担当1名・協働推進アドバイザー1名

【会議録】

事務局	<p>定刻になりましたので、令和6年度、第1回大田区区民協働推進会議を始めさせていただきます。</p> <p>本日は、岩井委員からご欠席の連絡をいただいております。ただいま、委員12名のうち11名の方にご出席いただいております。過半数に達しておりますので、大田区区民協働推進会議設置要綱第6条の規定に基づき、会議は有効に成立したことをご報告申し上げます。</p> <p>本推進会議につきましては、議事録作成のため、録音させていただいております。ご了承ください。なお、昨年12月の区民協働推進会議でご報告させていただきましたとおり、大田区民活動団体連絡会から浜洋子様が新委員としてご出席いただいております。後ほど、改めてご紹介させていただきますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、中島会長にご挨拶をお願いいたします。</p> <p>《中島会長挨拶》</p>
事務局	<p>ありがとうございました。続きまして、4月1日に着任しました地域力推進部長の有我からご挨拶を申し上げます。</p> <p>《地域力推進部長挨拶》</p>
事務局	<p>ありがとうございました。ここからは、中島会長に進行をお願いしたいと思います、どうぞよろしくお願いいたします。</p>
中島会長	<p>それでは、新委員への委嘱状の交付です。事務局、進行をお願いいたします。</p>
事務局	<p>委嘱状の交付について、ご説明させていただきます。</p>

	<p>昨年度、大田区民活動団体連絡会から、中島会長宛に要望書を賜りまして、12月の区民協働推進会議でお諮りさせていただきました。今回、第1回の区民協働推進会議から、大田区民活動団体連絡会より新委員としてご出席いただいております。委任状につきましては、机上に配布させていただいておりますので、ご確認お願いいたします。</p> <p>次に、委任状の交付はございませんが、3月までの山本委員の後任として、栢沼委員にもご出席いただいております。どうぞよろしくをお願いいたします。</p> <p>以上となります。</p>
中島会長	<p>続きまして、新委員の紹介です。それでは、新委員の皆さま、自己紹介をお願いいたします。まず、浜委員から、よろしくをお願いいたします。</p> <p>《浜委員挨拶》</p>
中島会長	<p>ありがとうございました。それでは、続きまして、栢沼委員、お願いいたします。</p> <p>《栢沼委員挨拶》</p>
中島会長	<p>ありがとうございました。本日は、令和6年度初めての会議でございますので、皆さんから一言ずつ、ご挨拶を頂戴したいと思っております。</p> <p>まず、安武委員から、よろしくお願ひします。</p> <p>《安武委員、中平委員、和田委員、濱住委員、中原委員、芦川委員、酒井委員、牛山委員、順々に挨拶》</p>
中島会長	<p>皆さん、ありがとうございました。</p> <p>それでは、令和6年度実施しましたスタートアップの助成とステップアップの助成、それから、新規委員、審査スケジュールについて議題といたします。</p> <p>事務局よりご説明ください。</p>
事務局	<p>令和6年度実施のスタートアップ助成、ステップアップ助成の審査員及び審査スケジュールについて、ご説明させていただきます。</p> <p>今回、新たな委員の方をお迎えしたということで、簡単に地域力応援基金助成事業のご説明からさせていただきます。</p> <p>地域力応援助成事業の審査が、本会議の重要な役割の一つとなっております。地域力応援基金助成事業でございますが、区民の方や事業者の皆様からお寄せいただきました寄附金を積み立て、基金としております。その基金を活用して、区民活動団体が取り組む公益性がある地域貢献活動について、助成する事業となっております。</p> <p>助成メニューは、スタートアップ助成、ステップアップ助成のほかに、チャレンジ助成、チャレンジプラス助成という四つの助成金のメニューがございます。その中の今回は、スタートアップ助成とステップアップ助成の審査に関してのご説明ということにな</p>

	<p>ります。</p> <p>スタートアップ助成は、対象が、申請において設立から6年未満の団体で、団体を立ち上げて間もないところの事業を下支えしていくという助成の事業になっております。ステップアップ助成は、設立から2年以上の団体ということで、基盤の事業をさらに拡大・拡充していくところに対して、支援をしていく内容になっております。既に昨年度のうちに募集を開始して、締め切っております。スタートアップ助成につきまして、1月30日から2月28日まで、ステップアップ助成が1月30日から3月6日までの募集をさせていただきました。</p> <p>この後、書類審査・面接審査を経て、採択団体を決定していく運びとなります。その審査委員とその審査のスケジュールをこちらで決めさせていただくということになっております。</p> <p>書類審査の期間になります。まず、スタートアップ助成・ステップアップ助成共に、令和6年の4月下旬から5月中旬、書類審査を行っていただきます。</p> <p>その後、書類審査を通過した団体につきましては、令和6年の6月を予定しておりますが、面接審査を同日で行うことになっております。</p> <p>この審査を経まして6月13日、木曜日の第2回区民協働推進会議の場で、その審査結果をお諮りして、結果を区長へ推薦し、採択団体を決定していくという運びになっております。</p> <p>こちらのスケジュールと、審査員について、事務局（案）のまま決定させていただけるということでありましたら、後日、面接委員の方には、事務局からまた、ご連絡をさせていただいて、書類審査・面接審査を行っていただければと思っております。</p> <p>事務局からは、以上になります。</p>
中島会長	<p>ただいまのご説明内容につきまして、質問、あるいはご意見等がございましたらご発言願います。それでは、事務局（案）ということを進めてよろしいでしょうか。</p> <p>それじゃあ、事務局、よろしくお願いいたします。</p> <p>引き続きまして、次第に沿って議事を進めてまいります。次に、令和6年度区民協働推進会議のスケジュール及び調査研究会について、事務局よりご説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>引き続き、ご説明させていただきます。</p> <p>区民協働推進会議設置要綱にも明記されていますが、先ほど、ご説明しました地域力応援基金助成事業の審査と並んで、区民協働推進会議の重要な所掌事項となっております。連携・協働に関する調査研究を2年の1任期のうちに、一つ調査研究をまとめて報告として、区長に提言するというものがございます。その調査研究とその報告書を作成する内容とそのスケジュールのご説明となります。</p> <p>令和5・6年度調査研究の概要についてでございます。</p> <p>こちらは、昨年度、令和5年度の12月の会議の中で初めてお諮りして、ご説明させていただいたものと、その後、いただいたご意見を反映させていただきまして、令和5年度の最後の3月に、書面開催になりましたが、そちらでも共有させていただいた内容</p>

	<p>になります。</p> <p>令和5・6年度調査研究のテーマですが、区民活動支援施設が持つ中間支援機能の強化に関する調査研究となっております。こちらは、調査研究の背景と目的としまして、区民活動団体の活動を支援する中間支援についてです。大田区では、区民活動支援施設蒲田（m i c s おおた）区民活動支援施設大森（こらぼ大森）こちらの二つが、今、その大田区の中間支援の大きな役割を担っている施設になります。</p> <p>これらの施設がその区民活動に関する相談であったり、情報収集、情報提供という機能になって連携協働の推進に、今も寄与はしていますが、今後、さらにこういった施設の機能の充実が求められております。</p> <p>そして、令和11年度には、こらぼ大森は、複合庁舎としてリニューアルする予定になっております。そういったことも契機となりまして、この中間支援ないしは、その区民活動支援施設が持つ機能を改めて調査して、区民活動支援に必要な要素がどういった機能があればいいのかとか、例えば、その機能だけではなく、施設が持つその拠点の在り方みたいなところを、この会議を通して、調査研究させていただいて、今後の区民活動支援施設の在り方に反映させていければと、このテーマにさせていただいております。</p> <p>具体的な調査手法になります。調査手法は、まず、区民活動団体のアンケート調査を予定しております。こちらは、オーちゃんネット、区民活動情報サイトとして長らく区民協働で運営させていただいているサイトがございます。そちらに、現在は665団体が登録しております。その団体全てが対象になりませんが、おおむねそちらの団体に向けて、アンケート調査を実施しようと考えております</p> <p>その後、先ほど挙げましたm i c s おおた、こらぼ大森、この二つの、区が運営する区民活動支援施設に現状や、課題などをヒアリングする予定です。</p> <p>さらに、他自治体の中間支援機能を持つ、同じような区民協働・区民活動を支えていくような施設というところも、視察を予定しております。</p> <p>それで、この調査にあたっては、事務局もちろん関わりますが、長らくこの区民協働推進会議でアドバイザーとして関わっていただいております、協働推進アドバイザーに協力をいただきまして、こちらを併せて進めていきたいと考えております。</p> <p>今年度最初ということもありますし、詳しい内容を協働推進アドバイザーからご説明していただければと思いますので、よろしく願いいたします。</p>
中島会長	<p>それでは、協働推進アドバイザーお願いいたします。</p>
協働推進 アドバイザー	<p>私のほうから、今後、実施を予定しておりますアンケート調査・ヒアリング調査の概要について、少しお話をさせていただきます。</p> <p>今回、令和5年度・6年度の調査につきましては、手法としまして、文献資料を調査するほか、区民活動団体へのアンケート、それから、実際、m i c s おおた、こらぼ大森の施設管理者等へのヒアリングを予定してございます。</p> <p>まず、アンケート調査についてでございます。こちらは、オーちゃんネットに登録しております団体を対象に、ウェブによるアンケートを予定しております。こちらは、現</p>

	<p>在、アンケート項目につきましては、事務局と設問について検討を進めておりますが、主な項目としましては、回答いただく区民活動団体の属性、それから、そういった回答をいただく団体が、そもそもこらぼ大森、m i c s おおたのことを知っているのか。もし、知っているなら、どれぐらい使っていますか、どういった目的で利用していますか、どういった課題を感じていますかといったことについて、アンケートを採る予定でございます。また、令和11年に、こらぼ大森がリニューアルされるということを踏まえまして、今後、そういった区民活動を支援する施設に対して、どういった役割とか、機能を求めますかということについて、アンケート調査を取る予定でございます。</p> <p>2点目、今度はヒアリング調査についてです。こちらはこらぼ大森、m i c s おおた、大田区内の施設についてヒアリングを進めるほか、ほかの自治体でもこういった区民活動、市民活動を支援するような組織、施設がございますので、そちらに足を運んでヒアリングを実施する予定でございます。</p> <p>主なヒアリング調査の項目でございますが、どういった施設の概要、組織の概要、それからその組織は中間支援以外に何か活動を担っていますかといった点や、一番重要になりますのは、中間支援組織の活動の実態について、どういった課題や現状があるのかということについて、少しアンケート調査の結果を踏まえながら、お話を伺っていこうかなと考えております。</p> <p>その上で、このアンケート調査、ヒアリング調査を踏まえまして、今後大田区の区民活動支援施設にどのような役割、機能というものを求めていくのか、区の政策にどういった方向性を求めていくのかということ、最終的に提言といった形でまとめることができると考えてございます。</p> <p>私のほうからは以上でございます。</p>
中島会長	<p>ありがとうございました。それでは、ただいままでの事務局の説明がございましたけれども、ご意見、ご質問がございましたら、ご発言をお願いします。</p>
中原委員	<p>非常に初歩的な質問で申し訳ありませんが、中間支援という定義と申しますか、中間支援というのは非常に難しい定義であるかなと思います。社協もある意味で言うと中間支援の組織だと言えらるかなと思います。ここで、中間支援組織というのは何でしょうか。どんなものかある程度、お話したほうがいいんじゃないかなと思います。</p>
	<p>事務局のほうで中間支援組織、あるいは中間支援の機能というものはどういうふう義務づけているのか、ちょっとその辺をお聞きしたいのと、濱住委員や浜委員など、ご意見お持ちだかなと思いますので、すり合わせしていたほうがいいのかというふうに思いました。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。中間支援、私もここに異動してくるまで、聞きなじみのない言葉ではあったんですけども、調べてみると非常に意味合いが多岐にわたる部分と、解釈も多分その立場によってそれぞれ解釈も異なるところがあるので、中原委員がおっしゃるとおり、ちょっとある程度、意思統一をした上で進めるということは大事かと思っております。</p>

	<p>事務局で考える中間支援ですが、我々が行政の立場、区と区民活動団体の方たち、またあとは第一生命さんのような企業、事業者様というところは直接的な関係間の、中間ですね。そこに入って調整を行ったり、相談支援を行うという機能がまず中間支援で一つあり得るところと、昨今は団体間、NPOだったり任意団体も含めて、団体間に入って、連携協働を推進するであったり、相談支援、活動をどう活性化させていくかというところの間に入って、そこもNPOとNPOの間に、さらにNPOというのが入る場合もあるんですけども、そういった形で入る中間支援組織という団体も多く存在しております。</p> <p>そこで、区民活動支援施設蒲田（micsおおた）と区民活動支援施設大森（こらぼ大森）は、どのような立場かと言いますと、そこが恐らく合わさったようなところだと思います。まずは、区の施設というところで区民活動団体と区を結びつける組織、施設であるということが位置づけとしてあるとは思いますが。さらに、そこに集う団体間の相談調整という機能も併せ持っているので、ここで定義として捉えていくのは、この行政との関わりと、その団体ないしは地域との関わりをどう相談調整して活性化させていくことができるかという機能に特化できればなと考えています。</p> <p>もし、委員の皆様の中からまたご意見いただければと思うんですが、一旦事務局からは以上になります。</p>
事務局	<p>補足で、あくまでも今の段階で事務局のほうで考えているのはという部分ですので、今後のこの調査研究の中で、もうちょっとはみ出したりとか、もうちょっと狭めたりということは当然、あっていいかとは思っております。</p>
中島会長	<p>ありがとうございます。ほか、ございませんか。濱住委員お願いいたします。</p>
濱住委員	<p>まとまっていないんですけども、中間支援ということでうちの団体が今までお世話になったところを考えてみたんですけども、やはり活動するに当たって必要となる人だとか、ボランティアさん含めた人だとか、それから活動場所、それから資金なんかをしっかりとそういうところをどうすればいいかということのアドバイス、相談、そういったことをしっかりとできる場所が必要かなと思っています。</p> <p>あとは組織基盤強化ですよ。事業に対する助成じゃなくて、組織をしっかりと固めていって、ちゃんと活動ができるような組織にするためのコンサルだとか、あるいはそういう便利な講座を開いてもらうとか、そういうところを私なんかはイメージしていますし、具体的には任意団体からNPO法人になるときに、どういうタイミングで法人化したほうがいいとか、あるいは法人化をすることによってのメリット、デメリット、そういうところがやっぱり相談機能がしっかりしていると非常に役立つかなという自分の経験からはあります。</p>
浜委員	<p>おおた区民活動団体連絡会という私たちの連絡会も、中間支援組織だと思っているんですが、団体間がどこかで手をつなげられるように、団体それぞれの活動を紹介しながら、楽しくネットワークできるようにというのが、私どもの連絡会の目的になっていま</p>

す。

今までのこらぼ大森が、場所貸し館ではなくて、相談支援、2階の相談交流室で、かなりいろいろな企画をしていただいて、その場でいろいろ主体的に動いていただいたところですよ。なかなか行きにくい場所にこらぼは、あるんですが、大田区全部からすると、それでも機能していて、集まってきてくださった方たちがそこで知り合って、さらに活動が広がっていくということができていましたので、行政が中間支援組織としてこらぼとmicsをもう1回捉え直していただくというのは、大変意義があると思っていますし、私たちもできればヒアリングしていただいたら、どんどん意見を出させていたいただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

中島会長

ありがとうございました。牛山副会長お願いいたします。

牛山委員

基本的には先ほどのご意見のように、いわゆる中間支援組織というものについて大田区でどうなっているかということをしっかり調べていこうということだと思います。それで、もうすでにお話あったように、この中間支援組織って一般に内閣府とかでも言っているんで、その言葉を使うことはいいとは思いますが、研究者とかの中でも中間という言葉が誤解を招くと。つまり、行政とNPOの真ん中において仲介するみたいな役割もありますけど、何かそういう組織みたいに言われて、そうではなくてやっぱり基本的にはNPOなんですよね。

区民の活動団体がその役割を担ったり、社協もそうだと思うんですけども、そういう形で担っているという点で、何かイギリスなどでは人の書いたものですけど、基盤強化組織とか、基盤支援組織とか、中間という言葉を使わないというふうなものもあるんですね。

ただ一方で、お話しあったように、団体間の中に立つというのもあるので、必ずしも使っちゃいけないということではないかなと思いますが、日本NPOセンターなんかのホームページを見ると、そういう中間支援という言葉じゃなくて基盤強化組織みたいな形で使おうというふうなところが言われているところでもあります。

ですから一般にはただ中間支援組織と言うので、そういう含意があって、先ほどお話ししたように活動するのに財源というか予算とか、それから組織とかあるいは進め方とかに、いろいろ支援する。その機能が大田区ではどうなっているかというところでまとめればいかと思います。

それもお意見のとおりですが、一つちょっと今後研究を進めていくに当たって気になったのは、団体とか組織の機能と、施設の機能というのが、なかなか一緒に議論できない部分もあり、例えばそういう組織、施設の例えば指定管理とかを担っている団体とそうじゃない団体とあると思うんですけども、そうすると今二つの施設のお話が出ていますけども、それ以外はどうなんだろうとか。先ほどの中原委員の社協はどうなんだろうとか、そういうところも含めて組織の、組織というか団体の機能と施設という建物とか、そういったものの機能というのを少し整理して調査研究していただけるといいのかなと思いました。

事務局	<p>ありがとうございます。確かにこの中間支援という言葉は、捉え方によっては結構無限に広がるようなところもあって、調査の期間もそうですし、絞らないと中途半端なものになってしまうので、しっかりと確認しながら進めていくことが必要なというのは当初から思っておりましたし、改めてそのような形で進めていければと思います。</p> <p>先ほど、調査の手法というところでお話して、アンケートであったりヒアリングというのが調査手法になります。あくまでこれは調査をするのではなく、調査して研究して報告にまとめて提言するということになりますので、先ほど、濱住委員、浜委員からお話をいただいたように、ぜひ活動されている方たちの目線も大いに反映させていただきたいと思っております。</p> <p>今回、区民活動に密接に関係する調査テーマでありますので、アンケート調査、そしてヒアリング調査を踏まえて、その結果を基に分科会という形で、この本会議とは別に委員の方たちを別途また選定させていただきまして、そのメンバーで調査の結果を踏まえてどうあるべきかという方向性であったりとか、を議論する場を設けさせていただければと考えております。</p> <p>こちらでご承認いただきました後、5月のゴールデンウィーク明けぐらいから先ほどお話ししましたオーちゃんネット登録団体を中心に、まずアンケート調査のほうを実施させていただく予定です。また、それと並行しまして調査研究、アンケート調査もまとめながら、m i c s おおた、こらぼ大森も含めて他自治体の施設のほうのヒアリングを実施していきたいと思っております。</p> <p>できれば、こちらのヒアリングに、ご協力いただけるのであれば委員の方も一緒に同行して、施設にご意見をいろいろと聞ければと考えております。</p> <p>その結果を踏まえて、7月から8月の間で一度分科会を実施させていただければと思います。</p> <p>アンケート調査、ヒアリング調査、そしてそれを踏まえた分科会の結果も踏まえまして、そこまででまとめたものを中間報告として9月ぐらいを予定していますが、数えまして第3回に当たります区民協働推進会議の中で、進捗を報告させていただきます。</p> <p>そこでまたいろいろご意見をいただいたものを、できましたら10月から11月の間にもう一度分科会のほうを開かせていただいて、それを反映させたものを、年末、12月の会議でお示していくというような流れで、最後年度末に向けて報告書をまとめていくというようなスケジュールで進めてまいりたいと考えております。</p> <p>6月の会議で分科会のメンバーを選任させていただきまして、本格的にこの調査研究というものに取り組んでまいりたいなど事務局案としてはお示しさせていただいております。</p> <p>事務局からは、一旦以上になります。</p>
中島会長	<p>ありがとうございました。ただいまの事務局案でございますが、ご発言ございましたらよろしく願いいたします。よろしいでしょうか。ありがとうございました。</p> <p>よろしく願いいたします。</p> <p>《発言なし》</p>

中島会長	では、次回の推進会議の日程について、事務局からお願いします。
事務局	次回、第2回は、6月13日の木曜日予定しております。ご承認いただければ、詳細につきましては、後日通知させていただこうと思っております。 以上です。
中島会長	ありがとうございました。 それでは、時間が迫ってまいりましたので、この辺で会議を終了させていただきます。 また本年度1年、お世話になると思いますので、よろしくお願い申し上げます。 《閉会》